

「ジュニア・防災カパワーアップ1000人育成プロジェクト」

「都市生活てんでんこ」首都直下地震に備える

株式会社ダイイチはCSR活動として、企業者による清掃活動のほか様々な福祉団体の支援活動を行ってまいりました。このたび、消防の活動服を含むユニフォームメーカーとして、より社会の安全対策に取り組むために、当社ボランティア委員会が被災地支援を始めた中越地震から10年余、阪神・淡路大震災20年の節目を契機に、将来を生きる子ども達の防災力向上を目的に標記支援事業を行います。

当社は3.11東日本大震災「被災地の子どもを支援する神奈川県民の会」構成企業として被災地支援活動を継続しています。活動の中から「釜石の奇跡」と言われた子ども達の防災教育の成果と重要性を深く認識し、次世代を担う子ども達が自らのいのちを守り、防災力を高めるための防災教育を支援することといたしました。

背景

子ども達の防災教育は、学校の防災訓練をはじめ様々な機関が行っています。しかし、系統だった研修システムや学習効果が測られないことから、被災地支援活動を継続的にしている横浜災害ボランティアバスの会及び、(一財)防災検定協会と連携して毎年1000人の子ども達を対象に、10年間の継続事業として「ジュニア・防災カパワーアップ1000人育成プロジェクト」に取り組みます。

「ジュニア・防災カパワーアップ1000人育成プロジェクト」は、毎年神奈川県内のガールスカウトなどの団体及び県内各都市の希望する児童1000人を対象に行います。

研修プログラム

- ・研修では、住んでいる町の地形的特性や気候や自然災害の基本を学びます。
- ・住んでいる家の安全性や安全な暮らし方の基本を学びます。

防災基礎知識の習熟度の確認

第1段階 事前対策のレポートの提出

受講者児童は、事前に家庭内の家具の転倒防止対策や家族が勤務先や学校にと分散している際の避難方法について話し合い、家族が信頼の元「都市生活てんでんこ」行動をとれるように計画を定めてレポート提出を行います。

第2段階 ジュニア防災検定試験の受験

(一財)ジュニア防災検定協会の行う検定試験を受験し、防災の基礎知識と応用能力の理解度を確認します。

第3段階 グループ活動

様々な減災のための取組・・・非常食や照明、トイレや情報の出し方など、避難所まで

の安全確認の方法など、子ども目線によるワークショップを開催し、その成果の発表を通じて伝える能力の醸成を図ります。

株式会社ダイイチのCSR活動としての支援内容

株式会社ダイイチは、本プロジェクトに要する資金の援助及び人的支援を行います。

「被災地の子どもを支援する神奈川県民の会」（会長 田口 務横浜YMCA総主事）は神奈川県内を中心とした市民・企業・行政が連携をして被災地気仙沼支援を続けています。

この支援活動の中心は県内の青少年であり、「子ども達による被災地の子ども達の支援」を行っています。

2015年事業概要

実施日時

2015年3月28日（土）～3月29日（日）の1泊2日

開催場所

三浦市ふれあいの村

参加者

ガールスカウト神奈川県連盟各団希望児童（小6）を対象としたジャンピングジュニアプログラムの中で実施

研修講師

元NHK解説委員・（一財）ジュニア防災検定協会副理事長伊藤和明氏ほか